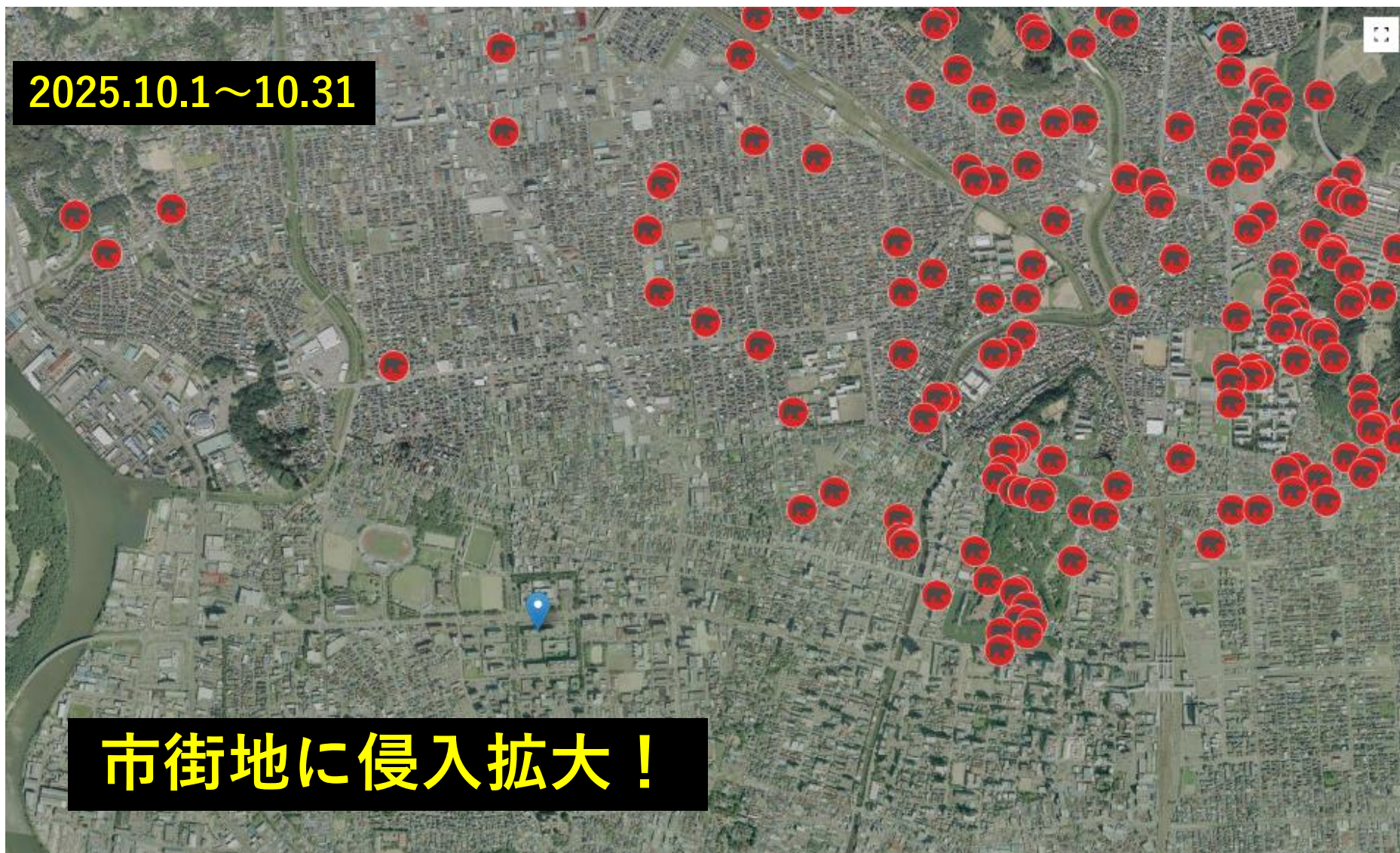


クマダス 令和5年度

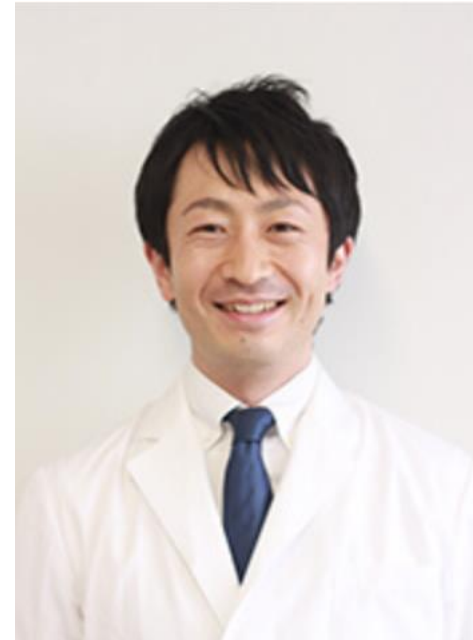


当教室のクマ外傷研究

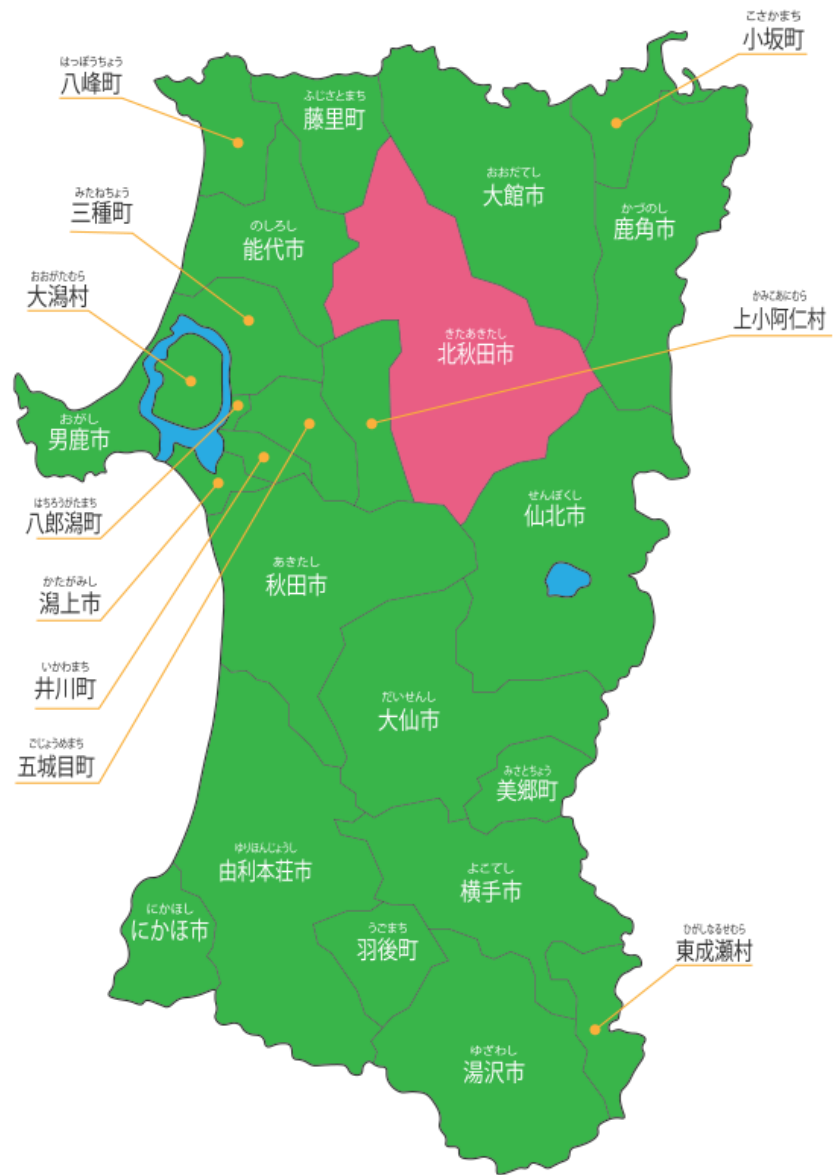
臨床経験

クマに対する防御姿勢は有効か？ 秋田県令和5年度データの解析

石垣佑樹^{*1)}，木村竜太^{*1)}，早坂 萌^{*2)}，渡邊颯太^{*2)}
近藤麻実^{*2)}，宮腰尚久^{*1, 3)}

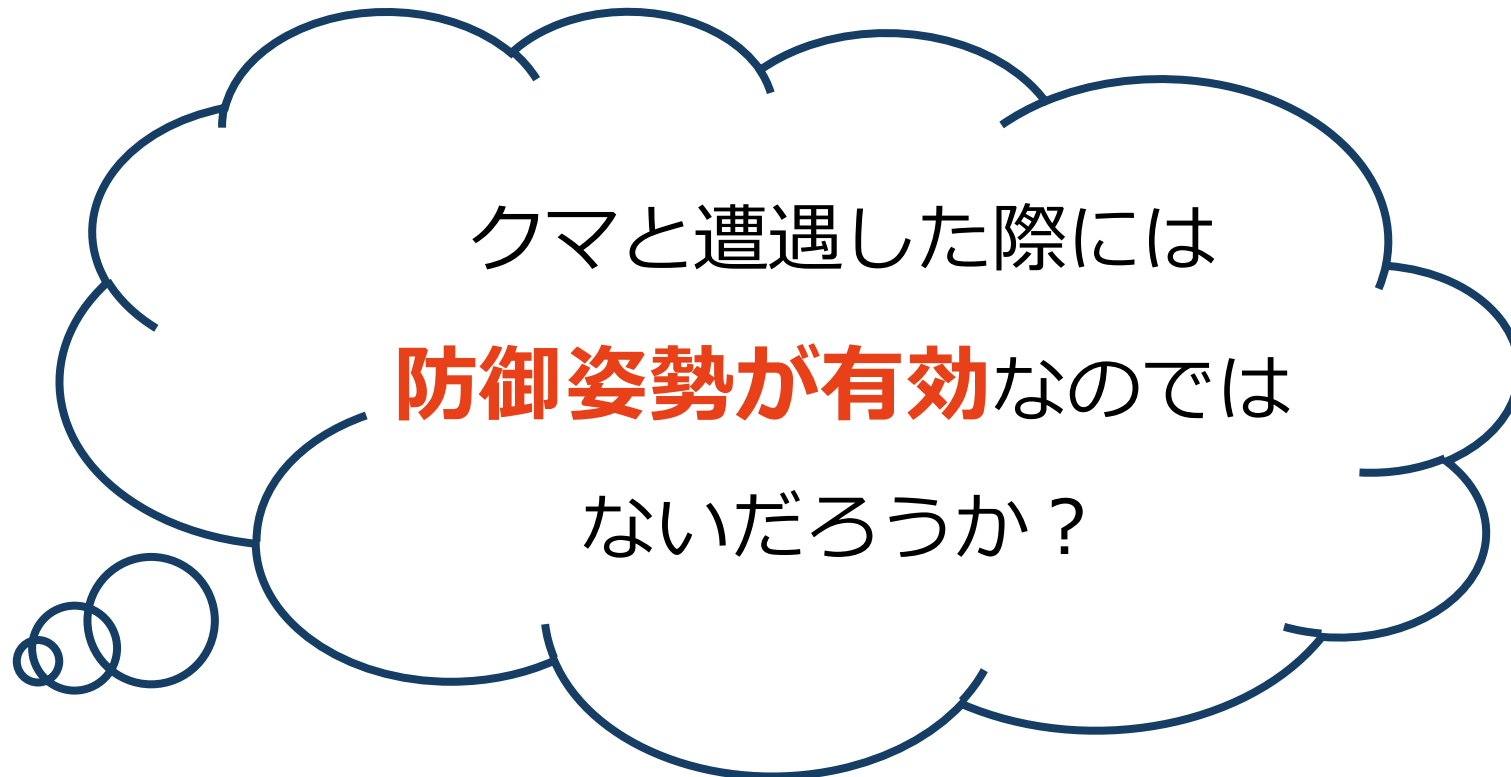


研究の動機



背景

- 北秋田市民病院に1日に**6名**救急搬送
- 防御姿勢をとることで重症化を防ぎえた患者もいた**



今回の発表の内容は…



- 整形外科の雑誌に投稿
- プレスリリース後には、テレビや雑誌などから取材依頼
- コメント欄を見てみると...

うつ伏せによる防御姿勢のイメージ

AERA
DIGITAL



全員軽傷の“防御姿勢” 連日クマが出没【スーパーJチャンネル】

(2025年7月18日)

ANNnewsCH 7万 回視聴・4 週間前

連日、クマが出没しています。遭遇しても全員、軽傷で済んだ身を守る方法を医師が発表しました。クマに襲われた湊屋啓二さん「クマに襲...

致命傷になる攻撃から身を守れるという意味はわかった。だけど、突然熊が目の前に現れた時、そんな冷静な判断と行動力が自分にはないと思う

そりゃあ普通の熊ならそうだろうけど、食べ物として仕留めに来た熊ならそのままポリポリ食われるだけで何の意味もない。

これクマが食いに来てないの前提だな

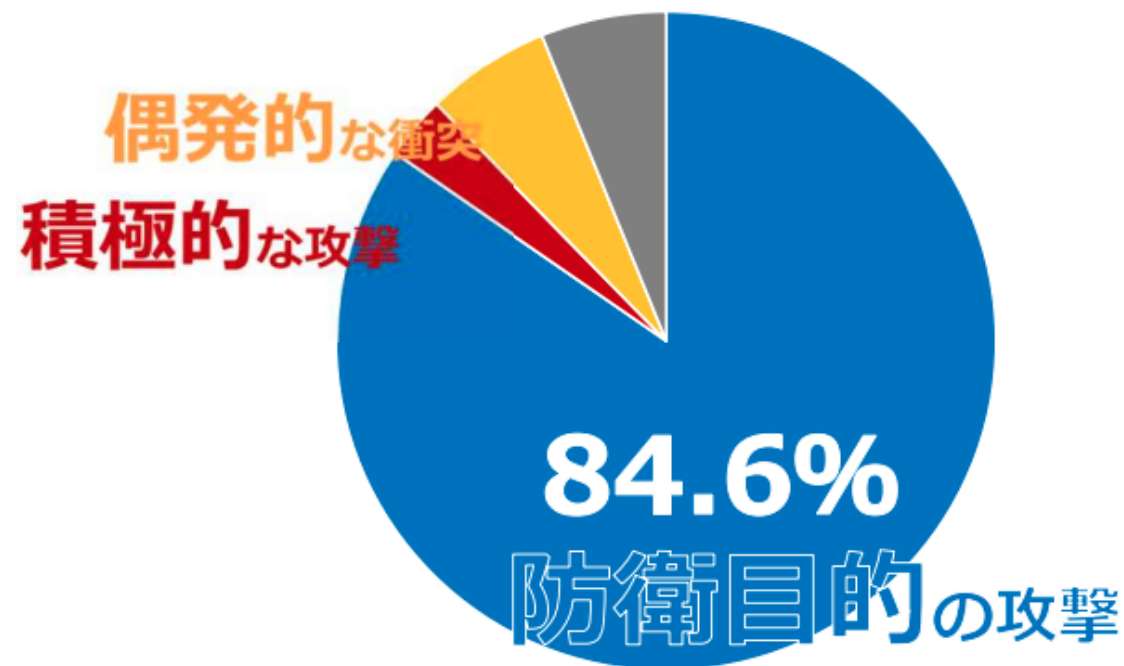
クマが食いに来たら鹿とか真っ二つになっちゃうから

意味ないよこれ普通にしぬ

攻撃の種類

防衛目的の攻撃と**偶発的**な衝突
が大半を占める

- どちらも短時間の攻撃
- 短時間攻撃を防ぐことができれば重症化を防ぐことができる可能性



秋田県からのデータから引用

I 目的

秋田県のクマ外傷症例を対象とし受傷状況と障害の種類・重症度を検討することで**うつ伏せの防御姿勢の有効性**を検証すること

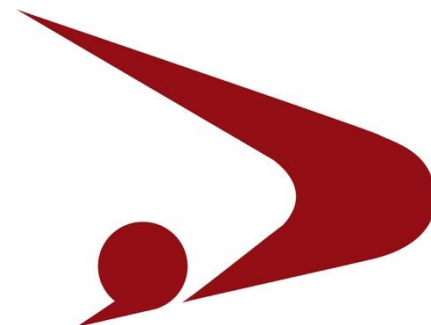
対象と方法

- 令和5年4月1日～令和6年3月31日
 - 秋田県内の病院を受診した患者
-

- **秋田県生活環境部自然保護課ツキノワグマ
被害対策支援センターと共同研究協定**
- 県内**14病院**に依頼・協力
- 秋田県の保有するクマ外傷人身事故情報と
カルテ情報を連結



秋田大学



秋田県

評価項目

患者背景

平均年齢，性別，受傷場所，受傷部位，受傷月，受傷時間帯

受傷状況

防御姿勢の有無，重症度，残存障害

評価項目 防衛姿勢

➤ 致命傷や重症となりうる**顔面や頭頸部**，**体幹部腹側**の受傷を防ぐ



評価項目 重症度

重症

- 多発性外傷
- 多発性外傷以外の全身麻酔を要した外傷
- 指肢切断

(厚生労働省が実施する「救命救急センターの現況調」の調査票3別紙1の定義)

軽症

- 入院を必要としない症例

(重症度と緊急度, 厚生労働省)

それ以外

- 重症ではないが入院を要した症例